


平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立八丈高等学校 全日制課程		進路実績 特 徴	四年制大学	46%	短期大学	0%	専門学校	29%	就職	22%	その他	3%
		輝く海に包まれて、伸ばせ育め、知性と個性			充実したキャリア教育、各種検定(漢字、数学、英語、パソコン)									
基	在 地	〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷3020		電話 番号	04996-2-1181									
		アクセス			(1) 八丈島空港から徒歩15分 (2) (3)									
本	学 科	普通科・併合科(園芸科・家政科)												
		在 籍 生 徒 数	普通科118名(男子61名、女子57名)、園芸科18名(男子16名、女子2名)、家政科13名(男子1名、女子12名)											
情	報		教育課程の特 徴		習熟度別授業(数学・英語)、少人数制授業、普通科・併合科共修選択、学校設定科目「郷土文化実習」「郷土芸術」「黄八丈」									
		ホームページ		http://www.hachijo-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算 30年度(単位:万円)		3,360						
報	そ の 他	校 服		制服 男子:ブレザー(既)、グレンチェックスラックス 女子:ブレザー(既)、グレンチェックスカート										
		募 集 人 員		普通科男子60人・女子60人、併合科35人										
情	報	入 学 者 選 抜 情 報	28年度入学生	推薦	男子		29年度入学生	推薦	男子		30年度入学生	推薦	男子	
					女子				女子				女子	
情	報	入 学 者 選 抜 情 報	学 力 検 査	男子	0.27	学 力 検 査	男子	0.27	併 合 科	男子	0.43	併 合 科	男子	0.43
				女子	0.33		女子	0.22		女子	0.42			
そ の 特 徴		学力検査700点満点、調査書300点満点、合計1000点満点												
主 要 学 校 行 事		体育祭、八高祭(文化祭)、移動教室、球技会、修学旅行、ロード記録会、芸術鑑賞会												

目指す学校 (1)「生涯をたくましく生きる人材」を育成する学校、(2)「生命を大切に、人権尊重の精神を身に着けた人材」を育成する学校(3)「何事にも意欲的に取り組むことができるグローバル人材」を育成する学校(4)地域に唯一の高等学校として、地域の多様な要請に対応できる学校、(5)地域教育の先導的役割を担い、家庭や地域に開かれ、かつ、信頼される学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標 ①	基礎基本の定着 ①50分間の授業時間を有効に活用し、生徒の能力に応じた指導内容・授業展開、使用教材の工夫を講じる。②ICT機器を有効に活用し、わかりやすい授業に努める。③オンライン学習や朝学習、補習・補講を組織的に実施する。④家庭学習の定着に向けた小テストや学習課題を継続的に実施する。	英語・数学での習熟度別授業でのきめ細やかな指導をはじめ、朝学習や講習等に取り組みさせることで、生徒の学習意欲と学力の向上に努めた。教授法や教材の工夫に関しては、87%の生徒が肯定的評価を示しており、目標を達成できた。また、ICT機器を効果的に活用する教員は増えており、生徒の能動的な活動を増やしていくことが課題である。本年度はオンライン学習を全生徒に導入したが、授業時間内での活用が十分にできず、生徒の自発的な利用が少なく、25%の生徒の利用にとどまった。家庭での学習時間は約3割の生徒に、家庭での学習習慣が根付いていないことから、定着に向けた指導法が今後の課題となる。	
目 標 ②	進学生徒への対応 大学への一般受験に対応できるように、①習熟度別授業(英語・数学)で、大学進学に対応した授業を実施する。②長期休業中の補習・補講の中で、発展的な内容を学ばせて学力を高めさせる。③校内で自学自習ができる教室を確保し、積極的に学習できる環境を整備する。	授業内容を精選する教員が増えてきた。生徒に学ぶ楽しさを味わわせるため、さらなる工夫を期待する。進学希望者に対しては、外部模試等を12回実施し、学力の定点観測を行うことでその結果をホームルームでの面談や教科会での活用を行った。長期休業期間中の講習は254時間であった。また、自習室を平日は午後7時まで、休業日は4時30分まで開放した。	
目 標 ③	学力不足生徒への対応 ①教科間連携を図るとともに、生徒一人一人の学習状況を把握段階的な指導を行う。②生徒の詳細な状況を把握するため、校内研修や情報交換の場を定期的に設定する。③特別補習(学力別等)を実施するなど、個に応じた指導体制を作るとともに、評価の観点の見直しを行う。	1学年については、学力向上研究校「校内寺子屋」において、外部人材を活用して47回実施し、延べ134名の生徒の参加があった。国数英で3割～5割の生徒において、学力の向上が見られたが、基礎基本の定着にはまだまだ課題が残る。個に応じた指導体制の構築が今後の課題である。	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	生徒の授業満足度100(%)	95	100	100	89	100	89	100	87	100	100	100
目標②	進路決定率100(%)	100	100	100	100	100	100	100	94	100	100	100
目標③	部活動加入率90(%)	90	88	90	80	90	80	90	67	95	100	100

八丈高等学校：生徒一人一人が主役

教育目標

誠実

慈愛

自立

互いの人格を尊重



校舎



女子バレー部



吹奏楽部 発表会



家政科制作のおせち料理



インフィオーラータ生徒参加の様子



園芸科・温室のポインセチア